

■芸術鑑賞会における感染症対策

密を避けます

- ・客席間を広く取る
- ・接触を避ける
- ・1回の鑑賞人数を減らすなど



体調管理の徹底

- 日常的な健康管理を心がけます。出演者と連絡を密に取り、健康状態のチェックをします。



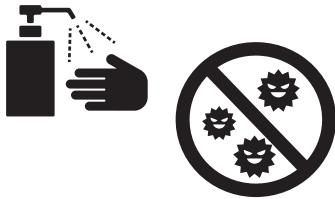
衛生管理の徹底

- 公演準備の際は、十分な換気・手洗いを徹底し、マスク着用します。(リハーサル・本番中など公演の品質に関わる重要な部分ではマスクを外すことがあります。)

参加型の演出の考慮

児童生徒に接近する演技・演奏・演出がある場合は、予めご主催者様と打ち合わせ、必要であれば、別の趣向やパフォーマンスに切り替えます。

新型コロナウイルスが5類になったあとも、ご主催者様の方針に沿った形で柔軟に対応させていただきます。
お気軽にご相談ください。



事前打ち合わせ

- 当日の動きや流れは、ご主催者様に事前に報告し、ご要望があればうかがい、感染防止のために必要な配慮であれば、積極的に取組みます。

報告の義務

- 出演者・スタッフ等に感染者が発生した場合、または感染の疑いが生じた場合は、速やかにご主催者様に報告し、協議の上実施の可否を決めさせていただきます。

キャンセルについて

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の影響による鑑賞会の中止が決定された場合、原則的にご主催側にキャンセル料は請求しません。(払い戻し不可の航空チケットなどを購入していた場合は実費分の請求を行う場合がございます。)代わりに下記内容をご検討いただいております。

① 同年度内の延期 (スライド実施)。

② 同年度内の延期が困難な場合は、次年度への延期。

実演家が、前を向いて精進し続けられますよう、「中止」でなく「延期」をご検討いただきたいとお願い申し上げております。
幸いなことに、2020～2022年度の鑑賞会を実施できなかったほぼ全ての学校さんが次年度への延期というご判断をしてくださっています。

● ご相談案件の事例

♪ どんな事でも まずは ご相談ください。

○ 日程の延期

出演者のスケジュールが合えば、いつでもOKです。

○ 公演回数 変更

費用が変わる場合もあります。
費用を変えず、出演者数の調整で対応する場合もあります。

○ 公演時間 短縮

公演回数が多い場合は、60分公演のところを45分にする場合もあります。

○ 会場変更

収容人数に規制がかかる変更になった事例も、ご相談ください。

○ マスク着用

マウスシールド、フェイスシールド、マスクなど対応。
演劇など演出上対応できない演目もあります。

○ 打ち合わせ

事前打ち合わせで情報を共有。
近郊の学校には、体育館の下見・打ち合わせに伺います。
リモートの打ち合わせも可能。

○ 体験コーナー 内容調整

体験コーナーの内容調整やカットなど、ご要望にお応えし、ご提案します。

△ リモート

学校の設備で先生が機材を操作して配信した。
実施の可否は会場の環境によるので応相談です。

○ 換気 OK

窓や扉を開けての鑑賞OKです。
冬の寒い時期は暖かい服装で鑑賞して下さい。

○ キャンセル料不要

詳しくは下記「キャンセルについて」をご覧ください。

○ インボイス制度 導入 (10月より)

主催者様のご要望やこちらからのご提案で
1校1校丁寧に対応しております。

*令和5年3月現在の状況を元に対策を講じたものです。必要に応じて対策を変更する場合がございます。

*各案件ごとに個別に、具体的な対策をご主催者様や出演者と協議しながら進めて参ります。